

The syntype Mt. Togakushi, on the other hand, agrees well with the original description. Nakai (1927) selected it as the type of *L. patens* Nakai which was proposed as the new name for *L. bicolor* f. *sericea* Matsumura. As I have proposed (Ohashi 1981), therefore, the lectotype of *L. bicolor* f. *sericea* Matsumura is the syntype Mt. Togakushi, i. e., Prov. Shinano, Mt. Togakushi (K. Watanabe, 1893 Aug. 20, TI).

□中国植物学会 (編): 植物分類学報 増刊 2 (索引 vols. 1~18) 300 pp. 1984. ca. ¥ 2, 230. 植物分類学報は中国の植物分類学に関する最重要な定期刊行物であり, 現在 vol. 23 まで出版されている。この雑誌の増刊号 2 として今回出版された本書は, 植物分類学報に関する初めての索引である。本学報 vols. 1~18 の出版された30年間に発表された論文は 500 編を越えているので, 本索引から受ける利益は大きい。3 部分から成立し, 主要部分は種の中国名および学名の索引であり, 他に論文表題の中国名および欧文名索引, 著者名索引がある。なお増刊 1 は普通の論文集であり, 総索引のようなものではない。  
(津山 尚)

□花井哲郎・小西健二・速水 格・鎮西清高 (訳): 古生物学の基礎 (Raup, D. M. & S. M. Stanley: Principles of paleontology) 425 pp. 1985. どうぶつ社, 東京. ¥9800. 最近のめざましい生物学の進展にともなって自然史の研究にも新しい見方や研究法などが導入され, これらに関連した教科書が欧米で多数出版されてきた。本書もそうした新しい潮流にそって古生物の原理や考え方および研究法を述べた最初の教科書であるといわれている。本書は 2 部 12 章からなる。第 1 部は「化石の記載と分類」で 7 章からなり, 化石を種のなかの標本として, 種として, さらに種の階級的な群として研究する方法が述べられている。第 2 部は「古生物学的資料の利用」で, 化石情報の地質学や生物学の問題への適用が取扱われている。著者は第 1 部について「分類学」または「系統分類学」としてもよかったが, 少し視野が異なると書いている。しかし, マクロなレベルでみたら, ちがいはわずかである。植物の分類学・系統分類学の原理を述べたすぐれた教科書の少ない日本では, この目的の教科書としても最も信頼されかつ有益なものとなるであろう。訳者の労に感謝したい。  
(大場秀章)

□太田久次: 三重県帰化植物誌 149 pp. 1985. ムツミ企画, 津市浜見町 727-20. ¥4,500 著者40年間の研究の集大成で, I 総論, II 目録より成る。総論では三重県における帰化の年代と経路, 主な帰化センターなど著者の研究がのべられている。目録には 491 種について産地, 記録年代が記されている。末尾に参考文献表, 植物名索引がある。今後さかんになるであろう帰化植物の記録の一スタイルを示すものである。  
(金井弘夫)